



# 市長退任のごあいさつ

豊かな自然に恵まれた留萌の発展を願って



**市** 役所の窓から12年間見続けてきた日本の青い海と暑寒別岳の眺めに、3月9日をもって別れを告げることになりました。3期という長い間は、ひとえに留萌を愛する多くの方々の温かい励ましと、力強い支えがあったればこそであり、ただただ感謝のほかはありません。

お陰をもちまして、留萌が抱えていた多くの課題に全力で取り組んでこられたことに心からお礼を申し上げます。今でも鮮明に覚えているのは、私が就任した平成6年3月に地元紙が行った「市民が市政に何を望むか」というアンケート調査の記事でした。最も多かったのは市立病院の改善で、2番目が温水プールの建設、次いでゴミ処理や下水道、火葬場といった生活環境の整備と魅力ある商店街などについて多くの要望が出されていました。

**日** 本経済はちょうどバブル崩壊後の長引く不況の中で、政府の景気回復対策の公共事業が集中し、国や地方自治体の財政が悪化している時期でしたが、放置できない市民の要望に取り組むため、現在のパシジョンミーティングの原形となったフリーの市民会議を設置し、2年にわたる論議の結果まさに手づくりといっている「留萌市第4次総合計画」を作りあげました。さらにこの中には、教育や福祉の充実、産業経済の活性化と並んで行政の簡素効率化いわば市役所改革も重要な

テーマとして盛り込まれました。総合計画は、今年で10年目の最終年となつていますが、市議会や多くの市民のご協力により、主な計画については概ね実現することができました。前述のアンケート要望のほか、児童センター2カ所とは一とぶるの完成、港南・北光両中学校の改築、障害者施設の改善、ゴールデンビーチのオーブ



ンなどをはじめ、多くの事業を進めてきました。この関連事業については、昭和63年の大水害を2度と起こさないうちの留萌ダムと大和田遊水地は平成21年完成にメドがついたほか、市内における国道拡幅事業も全体の半ばを過ぎるところとなつていきます。また、留萌〜深川高規格幹線道路は、

今年中に幌糠インターチェンジまでの開通が予定されており、いよいよ留萌地域も高速交通時代に入りつつあることが実感されます。この高規格道路は、留萌港を海上輸送の拠点とする道北地域の物流ネットワーク確立という大きな構想の一環となつていくことから、港の活用を一層促進するため、国内航路はもとよ

り海外との貿易拡大を狙いとして、目覚ましい経済発展を続けているサハリン州ユジノサハリンスク市で「るもい物産展」を開催いたしました。これをきっかけとして広い視野で粘り強く努力していかねばならない課題と考えております。

留萌の未来をつくっていくのは、結局そこに住む人々しかありません。

「情報公開条例」や「パシジョンミーティング」の制度を設けたのも、市職員意識改革を促進したことも、いずれも市民との協働関係を強め大きな力にしよつたことにほかなりません。特に、青年や女性の柔軟な発想と行動力を伸ばしていかねばなりません。そのため「男女共同参画社会るもいプラン」を作り、女性の社会参加を応援しました。市の各種委員会への女性登用率は約38%で10人中ほぼ4人、10年前の1人と比べ飛躍的に増加し、全道34市中のトップを占めるまでに活躍が目立つようになりまして、とても嬉しいことのひとつです。これらの人々が、人口の減少や経済の弱体化など厳しさを増している中にあつても留萌の未来に希望をもち、力をひとつにして新しいマチづくりを努力する市民の先頭に立つてくれるものと信じています。12年の間皆様からいただいた温かい心は私の生涯の宝として消えることはありません。豊かな自然に恵まれたこの留萌の発展を願いながら、市民皆様のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

留萌市長  
**長沼憲彦**